

感謝したいこと

千代中学校 三年 田中 綜一郎

あなたは日頃から人に感謝できていますか？親や友達、学校の先生など、私たちは色々な人に支えられて生活しています。

僕は日頃から、人に感謝をしています。言えてない時も多くあります。何かをしてもらって感謝することは当たり前のようにできた方がいいけれど、自分は、たまに言いたいことが言えない時があります。例えば、友達と遊んで帰る時や、先生からプリントをもらった時などの小さいことでも「ありがとう」が言えるようになりたいです。

僕は、来年には高校生になります。義務教育ではなく、自分で考え、多くの選択をし、行動しなければなりません。そして、今まで当たり前のようにやってもらっていたことも、自分でやらなければならないことが増えるでしょう。当たり前だと思っていたことは、支えられていただけで、当たり前ではないのです。そう考えるようになって、当たり前のようにしてくれている人に感謝の気持ちを持つことが大切だと思いました。サッカーを教えてください監督、勉強を教えてくださいる学校の先生、塾の先生、仲良くしてくれる友達、自分たちのために働いてくれる父、家事をしてくれる母に、僕は日頃からしっかりと感謝することができていないな、と思いました。両親に「ありがとう」と言ったのは、いつだったかな、と考えます。授業の後の先生への「ありがとう」がありました。「や練習後の監督への「ありがとう」がありました。」など、気持ちが「ありがとう」になってしまっている時があるなと思います。これは、自分だけでなく周りの人にも思いました。だから、自分も周りの人も感謝の気持ちを込めて言えるようにしたいです。

感謝すべきなのは、身近な人に対してではありません。僕たちの周りには、感謝すべき人が他にもいます。例えば、普段毎日食べている食事にも感謝する必要があると思います。世界には、学校にも行けず、ご飯も全然食べることができていない人が何億人もいます。僕たち日本人は、学校にも行けて、給食をいっぱい食べることができて、残してしまうこともあるくらい恵まれています。僕たちが当たり前だと思ふそんな贅沢ができない人がいる今、僕たちができることは何でしょう。料理を作ってくれた人や、食物を育ててくれた人に感謝をしっかりと、お腹いっぱい食べられない子のことも考えて、できるだけ残さないように食べることでないでしょうか。自分たちが食べ物を口にするまでに関わっていた人に感謝をして、直接感謝の気持ちを伝えることができなくても、その物を大切にするとか、作ってくれた人がどうしたら嬉しいのかを考えて、できることをしたいと思いました。

僕は、改めて生まれてから多くの人に支えられて生きているのだなと思いました。そして、これからも多くの人に支えられ、自分も誰かの支えになれるように生活していきたいです。そして、支えてくれる人に感謝の気持ちを常に持ち、自然と気持ちのこもった「ありがとう」が言いたいです。僕がこれをやり続けたら、いつか周りにいる人にもそれが伝わって、少しずつ多くの人が「ありがとう」の思いを大きな声で「言えるようになるかもしれない」。そうなるように僕は努力します。